

エクソン モービル (XOM)

【セクター】 エネルギー

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

米国を始め世界の多くの国で事業展開するグローバルなエネルギー会社です。原油・天然ガスの探鉱及び生産、石油製品・石油化学製品の製造や輸送等を行っています。同社が権益を持っている中南米のガイアナ沖鉱区では大規模な石油鉱床が発見されており、長期的な成長ドライバーになる可能性として注目されています。このほか、CO2の回収・貯蔵、水素や低排出燃料といったローカーボン・ソリューションズを強化しています。その一環として2023年11月にデンバー社の買収が完了しました。

【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

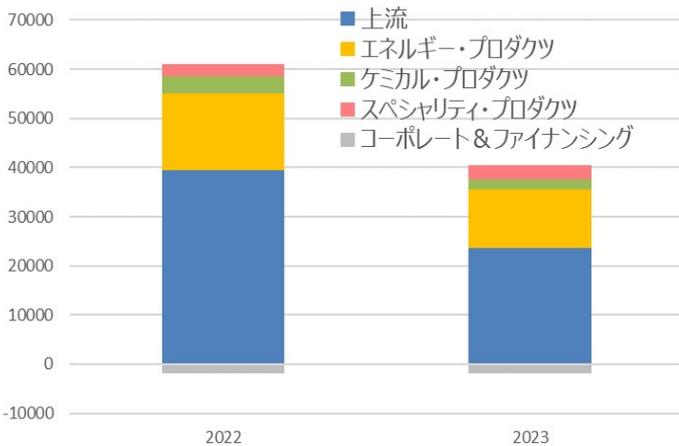
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	413,680	59,101	14.06	3.55	47.8	30.7	54.9
23.12期	344,582	38,572	9.52	3.68	51.6	18.0	56.5
24.12期 (予)	337,097	37,395	9.08	3.83	57.4	16.2	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) 会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

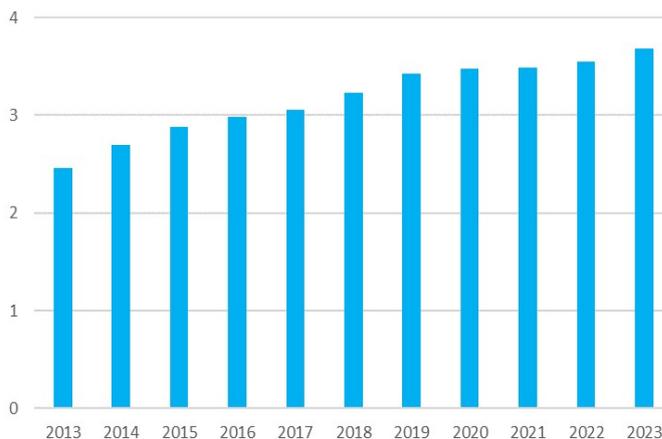
【主要指標】

セグメント別調整後利益 (百万ドル)



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

1株当たり配当額 (ドル)



(出所) BloombergよりSBI証券作成

【会社の見方】

温室効果ガス削減に向けて積極的に取り組み、2050年までにスコープ1（直接排出）とスコープ2（間接排出）に該当する温室効果ガス排出量をネットゼロにする目標を発表しています。2021年初めにはローカーボン・ソリューションズ事業を立ち上げました。これはCO2の回収・貯蔵、水素やバイオ燃料といった排出量を減らすためのソリューションです。なお、2022年4月付で下流と化学部門を3プロダクツ（エネルギー、ケミカル、スペシャリティ）に再編しました。また、同社は40年以上連続で増配しており、株主還元積極的にです。2023年10月にはシェール大手パイオニア ナチュラル リソースを595億ドルで買収する事で合意しました。パーミアン盆地での生産を強化する超大型のM&Aにより、エネルギー業界における更なる強固なポジションを確立しようとする意図が見られます。

【見通し・注目点】

2023年10-12月期はEPSが前年比27%減でしたが市場予想は上回りました。セグメント別の調整後利益は上流が天然ガス価格下落で同28%減、エネルギー・プロダクツが同37%減、ケミカル・プロダクツがマージン改善で同2.3倍、スペシャリティ・プロダクツが同7%減でした。2023年の構造的な累計コスト削減は2019年比で97億ドルで計画以上の達成でした。

## 本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。